



## 町のあゆみ

六四五年・道奥国が置かれた。のち陸奥国と呼ばれる。  
 七一三年・阿尺が安積となる。(風土記より)  
 七一八年・陸奥国を分けて石城国・石背国が置かれる。  
 七二八年・岩城・石背の二国が再び陸奥国に統合。  
 八〇一年・坂上田村麻呂が蝦夷征伐のため奥州に下向。  
 八〇二年・坂上田村麻呂、胆沢城を築ぎ、鎮守府をここに移す。  
 \*大越の鬼伝説はこの頃の時代を背景に語られている。  
 一三三四年・南北朝の動乱で田村庄司は南朝方に従い活躍。北畠氏らと各地を転戦する。

一三四一年・大越柏原の地に見渡神社鎮座。  
 一三四六年・大乘寺の前身「長安寺」を中津川宮内大輔が建立。  
 一三九二年・栗出永泉寺本尊、木造正観音成る。  
 一三九四年・牧野見渡神社鎮座。  
 一四〇〇年・歴史書に初めて「大越」の名前が登場。  
 奈目旧記に「斯波左京大夫満詮、伊達円孝らの乱により仙道大越にて討死」とある。  
 一四〇四年・田村一族「探契状」の中に大越Ⅱ宮内小輔季広、白石Ⅱ伊豆守季春の名見える。



### 安土・桃山

一五八八年・伊達正宗、大越城を攻撃する。  
 一五九五年・大鉄山長源寺、下大越現在地に再興。のちに町の天然記念物第Ⅱ号に指定された大イチョウは、この時植樹された。

### 江戸

一五九七年・大乘寺、明部淵に再興。  
 一六〇五年・日光廟造立に、三春領大越村の水晶を送る。  
 一六六五年・三春藩士栗原兵右衛門仕法により、領内の新田開発に着手。(栗原新田)  
 一七一六年・入三洞三匹獅子舞は、この頃から舞われていたと伝承されている。  
 一七八八年・幕府巡見使、田村地方を巡察。  
 一八二一年・田子屋、獅子頭と舞が稲荷神社に奉納され、三匹獅子舞がはじめられる。  
 一八二三年・上大越町大火。二戸・七〇棟焼失。  
 一八三三年・大凶作。村協議により諸事簡略筋実施。  
 一八三五年・上大越三庄屋役儀取り上げとなる。  
 一八七一年・廃藩置県により、三春県に属する。その後三春県が平県に属し、平県は磐前県と改称される。

### 明治

一八七六年・三県合併により福島県に所属する。郡制により田村郡に属し、郡役所を三春町に置く。  
 一八八九年・市制町村制施行により上大越村と下大越村が合併して大越村となる。  
 ・上大越町字町二七番地に役場を開庁。  
 一九〇二年・役場を上大越字町一四番地に移転。(現役場真向い)  
 一九〇五年・凶作の救済事業により下大越川向から堀越明宮に至る里道開通。  
 一九一五年・郡山〜小野新町間鉄道開通。  
 一九一七年・磐越東線全線開通。  
 一九二一年・役場を駅前通りに移転。  
 一九二六年・大越娯楽場(現武道館)落成。  
 一九二九年・電話開通。(二台)

### 大正

一九三〇年・乗り合い自動車(バス)運行。



鬼五郎・幡五郎兄弟の伝説から千二百年あまり。大越町の歴史は、さまざまな彩りにつつまれています。

# 元気な町おおごえができるまで